



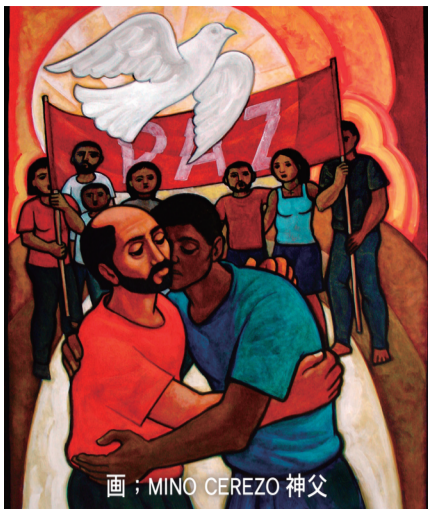
ヨゼフ アベイヤ 司教 認可  
発行所 福岡教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行人 山元 眞  
カトリック福岡教区  
編集人 山元 眞  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡教区  
定価 1部70円

8・9月の意向

教皇の意向のために祈りましょう  
【教皇の意向】(8月) 政治におけるリーダー  
(9月) 地球の叫び  
【日本の教会】(8月) 世界の平和  
(9月) 高齢者の喜び

日本カトリック平和旬間 (8/6〜8/15) に寄せて  
平和の祈りは叫びととなって

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教



画: MINO CEREZO 神父

人々の暮らしを脅かしてしました。残念ながらも今でもそうです。村を攻撃したり、人々を殺したり、子どもたちを誘拐したりすることがよくあります。マスメディアによつて何回も報道された現実なので、皆さんは聞いたことがあるだろうと思います。

ただ、その人々の平和の望みと心をつたえたい。本当は心をつたえたい。本当に生活から生まれているもの、具体的なことではない。彼らの平和のための祈りは「叫び」でした。彼らの平和のための活動は命がけのものでした。

私たちは、今年も平和旬間を行います。教区や各地区で様々な企画が準備されています。素晴らしいことです。原爆とその背景にある歴史を忘れてはいけません。

私たちが、今年も平和旬間を行います。教区や各地区で様々な企画が準備されています。素晴らしいことです。原爆とその背景にある歴史を忘れてはいけません。



教区100周年  
ロゴマーク

2027年福岡教区創立100周年に向かつて  
「感謝・情熱・希望」を胸に一步を踏み出す

7月13日(土)〜14日(日)の年間第15主日、福岡教区内の全教会で、2027年に迎える教区創立100周年に向け、3年をかけて準備を始めるための開始ミサが捧げられた。このミサでは、アベイヤ司教が創立100周年に向けて発表したメッセージが読まれ、それぞれの小教区で共同祈願と「創立100周年のための祈り」が唱えられた。

7月14日(日)梅雨末期の大雷雨も発令される中、カテドラル大名町教会では、主司式アベイヤ司教のもと、約300人の信徒が参加し、福岡教区全小教区の信者と心を合わせて祈りを捧げた。

ミサの冒頭、司教は「この3年間は私たちにあって、本当に信仰を深める機会になり、また教区全体が、より積極的に福音宣教に励んでいく」と抱負を語った。そして説教では、教区の宣教司牧方

針の中にある「福岡教区の共同体が今まで歩んできた道を振り返って感謝します。また、福音に触れるときに伝わってくる情熱に促されて歩み続けようとしています。それによって、希望をもって将来に向かって行くことができると確信しています。『感謝』『情熱』『希望』はわたしたちの歩みを導く光です(P.6)に触れ、この3年間に留めてもらいたいと願った。



(左から) レナト・フィリペーニ神父(聖ザベリオ宣教会) 司教・中村彰神父(大名町教会主任司祭)

にもものを見たり、自分の都合だけですべきことを決めた。排除されている人々に目を向けなかつたり、人の心を

時の話題

「主の祈り」は平和の祈り

今現実起こっている二つの大きな戦争やあちこちの紛争、衝突・対立・不和などのニュースを聞く時、今すぐの戦争の終結や平和の回復は難しく感じ無力感すら覚えます。私たちは、戦いのさなかに出かけ

会う方々の中で人の平和を思いいます。「相手の思い通り生きることを強いられ、人として根本的な自由を尊重してもらえなかった」「認めてもらえなかった」「一人の人間として大切にされなかった」「いろいろな差別を受け続けた」等々。そこから起こる個人や家庭、社会で複雑に絡み合う問題。それが国と国との間に拡大して大きな争いにつながるのでないでしょうか。

イエスが病氣や様々な困難を抱えている人と出会い、その人を一人の人間として大切にし、認め、差別せず、自由へ解き放つことを想うと、平和の実現は、まず自分自身が神に愛されているものである。 礼拝会 Sr.荻野 富子

具体的に心にとめて、私たちの祈りが大きな叫びになってほしいのです。何もせずにいらねえなほど、平和への思い傷ついたりしたこともありま。歩みを振り返るときに見えてくるこれらの事実、神と人々にゆるしを求め、福音に立ち返る恵みを祈らなければなりません」と語り、教区創立100周年の記念日まで3年間は償いと回心のときでもあると強調した。

そして最後に、今年には特に宣教司牧方針の第二の柱である「互いに支え合う『交わりの教会』となる」ということを心に留め、具体的な取り組みを、各自、各小教区、各地区で考えて欲しいと述べた。ミサに参加した吉田俊雄大名町教会信徒会長は「全体的なことは、やはりまず感謝することから始まる。この3年間の歩みが試される。今までの歩みで振り返り、さらなる高みを目指す次の100年を迎えるために、今からの3年間の歩みが試される。宣教司牧方針の第二の柱である『交わりの教会』となる」と語り、ミサの様子は、下記QRコードからご覧いただけます。

夏が来ると思い出すのは草原の国モンゴルの星空だ。縁がなくて何度かモンゴルを訪れる機会があったが、2003年夏の草原で特別な星空に出会ったのである。滞在中のある日、モンゴルの知人やその家族と一緒に首都ウランバートルを夕方出発して、チンギスハーンが築いたモンゴル帝国の都の跡まで車を走らせた。暗くなるにつれ、進行方向にオレンジ色に輝く人家の明かりと見間違う大きな星を見つけた。その星はまるで私たちが道案内しているようだった。この数年は火星が地球にもっと近づいていくらしく、日本に戻ってからしばらくは、この星がその火星だったのかと思いを馳せた。夜も更けて目的地近くの草原にテントを張り、寝る準備を始めた。その時に見えた夜空は無数の星の光に満ち、ミルクをこぼしたような天の川が屈曲曲曲だった。畏怖の念を覚え、星空から目を離すことができず、心の中で手を合わせて流れ星を目で追っていた。そして、テントを張り終え、準備できたよと優しく声をかけてくれた、すでに友となっていた知人たちに感謝し、星空の真下、冷え込むテントの中で身体を寄せ合い平和な眠りについたのだ。『あなた、天を、あなたの指の業をわたしは仰ぎます。月も星も、あなたが配置なさったもの。そのあなたが御心に留めてくださるとは、人間は何者なのでしょう。人の子は何者なのでしょう、あなたが顧みてくださるとは』(詩篇8:4〜5)。みことばと共に心に深く刻まれたモンゴル夏の草原での思い出である。(C)

9月号は休刊です。



### 福岡教区 本部会計 2023年度会計報告

① 経常収入は33,229万円となりました。内訳は小教区分担金3,759万円、寄付献金が8,625万円、運用と雑益で20,845万円となっています。小教区分担金と寄付献金が教区の基本財源ですが、2023年度は8,856万円程の収入不足を資産運用で賄う結果となりました。

教区本部会計の収入を補うために、資産運用収入は大いに役立つているのが現状です。2023年度は、16,427万円となり、昨年比4,200万円程増加しました。また、2023年度は小教区・墓地などの繰越金から約80,000万円の「預かり金」の協力をいただきました。概ね半年間の運用でしたが、1,274万円の実績をあげることができました。教区全体にとって大きな助け

科目	R5年度決算	説明
(宗教活動収入)	113,598,677	
【信徒通常献金収入】	27,526	
祝日特別献金	27,526	
【援助金収入】	23,660,984	
神学校援助金(神学校費)	23,660,984	一口300円で集めたお金は、全部本部会計に送金。小神学生・コレジオ・大神学生のための献金です。ちなみに、神学生養成支出は、23,067,932円でした。
【寄付金収入】	48,856,671	
一般寄付金収入	23,634,873	修道会献金・社会福祉法人献金・個人献金
指定寄付金収入	2,328,326	目的が指定されている献金、難民移住、召命促進
司祭寄付金収入	22,893,472	司祭、司教よりの寄付金
【特別献金】指定献金	3,455,600	
神学校後援会献金	2,500,000	
広報活動援助献金	951,689	購読料、広告料、広報の日献金
その他特別献金	3,911	
【分担金収入】	37,597,896	
小教区分担金収入	37,130,409	教会維持献金、ミサ献金と祝日特別献金の合計は、まだ、2022年度分の15%で、2023年4月に納入していただいた金額です。2023年度は30%で、2024年4月～5月に納入のお願いをしています。
租税分担金収入	41,987	小教区消費税、法人税など
その他分担金収入	425,500	福岡教区ハンドブック
(資産運用収入)	52,417,443	
雑収入	48,258,213	運用雑益、消費税等還付金、カリス、その他
電柱敷地料収入	159,230	
資産利用料収入	4,000,000	東光町
(繰入金収入)	2,000,000	
小教区会計繰入金収入	2,000,000	健軍(旧さゆり園)
経常収入合計	168,016,120	
資産運用より	164,276,398	
収入合計	332,292,518	

2023年度特別献金	献金額
指定献金合計	20,107,992
世界こども助け合いの日	3,833,014
四旬節愛の献金	3,988,502
聖地エルサレム献金	636,747
広報の日献金	1,055,557
聖ペトロ使徒座献金	1,175,202
世界難民移住賛助者献金	1,263,477
世界宣教の日献金	1,292,289
宣教地召命促進の日献金	1,161,229
世界召命祈願の日	53,088
カテドラル献金	996,983
臨時指定献金	4,651,904

本部収支計算書 支出の部	R5年度決算	説明
(宗教活動費)	212,385,740	
【宗教活動費】	24,313,389	
祭儀行事費	2,708,161	ミサ用品、シノドス準備、ベトナム語ミサ
司祭研修費	2,163,469	司祭集会、司祭黙想会
委員会活動費	1,890,532	典礼委員会、宣教養成委員会、社会福音化委員会 他
宣教広報費	4,224,964	教区報、ハンドブック、ホームページ、取材、広告
教育養成費	9,985,173	コレジオ、WYD、ベトナム神学院
図書資料費	350,195	新聞、心の灯
会議費	842,996	顧問会、司祭評議会、経済問題評議会、宣教司牧評議会
諸会費	37,000	社会保健協会会費、架橋料
寄付金支出	2,110,899	長崎管区支援室、ダルク
【その他の宗教活動費】	17,161,300	
中央協議会納付金支出	1,850,000	分担金
教皇庁分担金支出	371,300	分担金
大神学院分担金	14,940,000	分担金
【助成金支出】	1,250,000	
小教区助成金支出	1,250,000	美野島司牧センター、浄水通り納骨堂、聖マリア病院
【管理運営費】	33,973,547	
消耗品費	903,426	印刷、事務用品、消防品、衛生用品など
通信費	1,063,422	電話、ネット、送料、振込料など
旅費交通費	2,076,041	通勤手当、旅費、交通費
自動車諸費	835,134	ガソリン、車検、修理
水道光熱費	2,988,092	本部、司祭の家、大濠会館、門司港教会、花岡山、八代殉教地、本郷巡礼地、旧コレジオ
交際接待費	216,916	お茶、お弁当、お祝いカード、電報、葬儀等
修理費	12,320	大濠洗濯機修理
営繕費	9,503,241	司教館リフォーム、幼きイエス、大濠会館(エアコン移設) 他
賃借料	3,341,800	会計機器リース、本部(電話機・コピー機リース代) 他
報酬委託手数料	8,758,583	税理士、会計事務、労務士、弁護士、エレベーター、消防点検、受水橋点検など
租税公課	2,014,061	旧さゆり園、東光等固定資産税、二日市水路等
損害保険料	2,215,328	司祭、小教区、修道院保険等(カリス)
雑費	45,183	残高証明、町内会費
【人件費】	135,687,504	
司祭給与	92,535,000	司祭、修道会給与等
職員給与	24,997,417	本部職員、パート、神学生、シスター給与
退職金	6,432,000	職員、司祭
法定福利費	10,258,431	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	1,464,656	司祭・職員健康診断、司祭介護補償
(繰入金支出)	20,000	
本部会計繰入金支出	20,000	司祭黙想関係
経常支出合計	212,405,740	
司教館積立金支出	10,000,000	
次期繰越金	109,886,778	
支出合計	332,292,518	

### 福岡教区司祭 黙想会 神の想いに耳を傾ける



深い祈りと黙想の時間を過ごした司祭たち

6月17日(月)から21日(金)まで、福岡教区司祭の黙想会が、別府市のイエスのカリタ

ス修道女会 亀川修道院で行われた。この黙想会は教区司祭を対象として、宣教会や修道会の司祭など、希望者も参加することができ

② 教区本部会計の年度内経常収支の差額は11,988万円の赤字となりました。そのうち、4,000万円は個人の特別な献金が含まれています。宗教活動費を含め、今後の小教区支援に役立つことが出来ます。

③ 2023年度のカテドラル献金は99万円で前年比17万

① 経常収入は33,229万円となりました。内訳は小教区分担金3,759万円、寄付献金が8,625万円、運用と雑益で20,845万円となっています。小教区分担金と寄付献金が教区の基本財源ですが、2023年度は8,856万円程の収入不足を資産運用で賄う結果となりました。

教区本部会計の収入を補うために、資産運用収入は大いに役立つているのが現状です。2023年度は、16,427万円となり、昨年比4,200万円程増加しました。また、2023年度は小教区・墓地などの繰越金から約80,000万円の「預かり金」の協力をいただきました。概ね半年間の運用でしたが、1,274万円の実績をあげることができました。教区全体にとって大きな助け

入管法、コロナ感染によるパンデミック、作家の作品などを基に、司祭の生き方や宣教司牧を見直すよう導いた。その内容は、神とその似姿である人とのつながり、神の計画や摂理に対する信頼と協力

文責 福岡教区会計 青木悟神父

② 教区本部会計の年度内経常収支の差額は11,988万円の赤字となりました。そのうち、4,000万円は個人の特別な献金が含まれています。宗教活動費を含め、今後の小教区支援に役立つことが出来ます。

③ 2023年度のカテドラル献金は99万円で前年比17万

今回は勉強について報告したいと思います。聖書神学は私にとって挑戦のしがいがある学問です。言い換えるなら、難しいと言いましょか。

中国・韓国の神父たちと。彼らの国の料理に舌鼓(船津神父 左から2番目)

最初の一年はイタリア語で聖書古典言語であるギリシア語、ヘブライ語の基礎を習得するために過ごしました。コレジオの友達に教皇フランシスコの一般謁見に出かけるときも、私は部屋でギリシア語の勉強をしていましたし、コロナに感染して自主隔離していた一年目のクリスマス休暇も、部屋でヘブライ語の勉強をしていました。それまでどうか、お祈りで支えてくだされば嬉しいです。

**サンパウロ 福岡宣教センター**

営業時間: 10:00~18:00  
定休日: 日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26  
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930  
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理  
なんでもお問い合わせください

**(株)ジャパン・スマイルか**

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子  
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号  
TEL 092-761-8800  
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- R/C工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎ (092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑 (SOU-EN)**

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

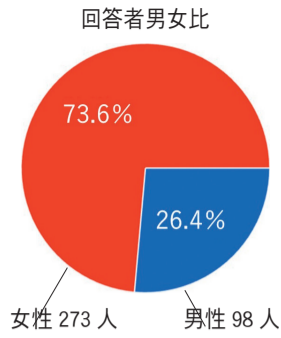
**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



福岡教区 教区報 読者アンケートの結果を踏まえて

広報部では4月に「福岡教区報」に関するアンケートを実施し、600近い回答が寄せられた。アンケートで得た諸意見を参考に、可能なメディア（情報を伝達するための媒体や手段）を通して情報提供を推し進めたい。

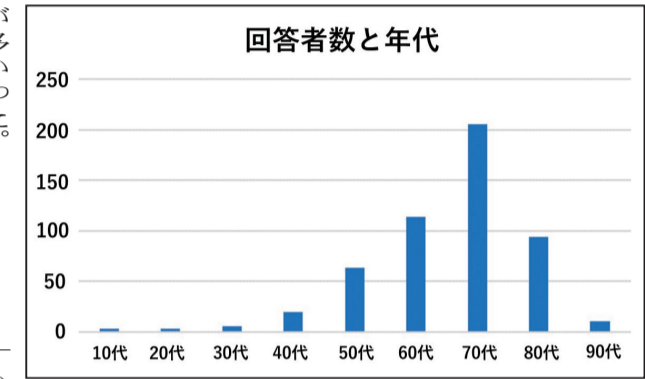


【読者数と読者層】

現在の福岡教区の信者数約3万人に対し、教区報は毎月6000部発行されているが、確実な読者数は把握されていない。各小教区から申請されている部数や広報部の残部から見て、読者数は決して多くはない。少なくとも主日のミサに参加しているすべての信者（大人）に手渡される

【希望する記事】

教区報を読む理由として「役に立つから」という回答が多く、その裏には「教区や他小教区の状況がわかり、参考になる」ことが考えられる。役に立つ記事として「巻頭言（1面）」と「各種お知らせ」（4面）を挙げる回答



【改善してほしいこと】

「文字を大きく、字が詰まり過ぎ、分かりやすい文章で。写真やイラストを大きくして、かつ増やして欲しい。情報が多すぎる。信者でない方もわかりやすいように」という意見には、すべての信者に知っていた、大事な情報を念頭に「できるだけたくさん」との思いが、逆にマイナスになっていると感じた。

【これからの教区報】

情報の伝達にはさまざまな方法、例えばTVや新聞、インターネット、SNS（フェイスブックやインスタグラムなど）、アプリなどがあり、これらを一本化する事はできない。しかし、アンケートを見ても、紙媒体（新聞）はまだ必要とされている。若年層を念頭に、紙以外のメディアによる伝達も充実させていかなければならないが、現在発行されている「教区報」に満足した方が多かった。また、いたいた意見が可能な限り反映し、力になりたいと思う。

知りたい！ 福岡教区内の修道会 宣教会 ⑮

福岡教区には現在30の修道会・宣教会・在俗会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。一昨年春より紹介している、その修道会や宣教会・在俗会。第25回は、神言修道会です。

しんげん 神言修道会

福岡教区で働く司祭たち 左からリチャード神父（伊万里教会主任）、宮崎神父、岡崎才蔵神父（トラピスト女子修道会チャプレン）



神言修道会は宣教修道会で、ドイツ人司祭アーノルド・ヤンセンによって、1875年に外国宣教をその主な目的として創られました。

本会は、その名称から神のみ言葉とその使命への献身を意味しています。その特徴は、様々な国や地域出身の異なる文化的背景を持つ会員同士が共に住み、意図的に多文化共同体を形成していることです。

それは多文化の豊かさを通して、互いに学び合い、その実りを

を多様化が進む社会に相応しく反映させる宣教活動を行うためです。現在、世界70ヶ国で宣教活動を行っています。

日本において宣教活動が始められたのは1907年からです。3人のドイツ人宣教師が派遣され、秋田、山形、新潟、富山、石川などの日本海側地方で宣教が開始されました。これらの地域は、その後、新潟教区として編成されています。

神言会日本管区本部が名古屋教区内へ置かれてからは、教育活動、教会司牧、社会福祉…等の分野で働いています。教育分野においては南山大学の人類学や宗教学の研究は有名です。日本管区所属の会員130人（23ヶ国から）のうち、3分の1に当たる会員が教育分野で働いています。また、教会司牧においては名古屋、新潟、仙台、東京、福岡、長崎の6教区で30の小教区を担当しています。

尚、福岡教区においては、伊万里教会と久留米教会、それにトラピスト女子修道会のチャプレンと合わせて3人の会員が働いています。

神言会 宮崎保司（久留米教会主任）

これらを一本化する事はできない。しかし、アンケートを見ても、紙媒体（新聞）はまだ必要とされている。若年層を念頭に、紙以外のメディアによる伝達も充実させていかなければならないが、現在発行されている「教区報」に満足した方が多かった。また、いたいた意見が可能な限り反映し、力になりたいと思う。

佐賀地区研修会

6月9日（日）、佐賀地区宣教司牧評議会主催の信徒研修会が佐賀教会聖堂にて開催された。今回は、ヨゼフ・アベイヤ司教を講師に招き、一昨年に配布された福岡教区宣教司牧方針をテキストにして「ともに歩む教会」をメインテーマとした。



はじめにイエスのみことば「恐れることはない」（マルコ6・45-52）を全員で聴いた後、座席の前後のグループごとに4～6人程度で黙想と分かち合いの時間をとった。そして、アベイヤ司教が宣教司牧方針とシノドスの歩みについて説明を行い、教会の本当のあり方に目覚めていくよう、呼びかけた。さらに、3年後の2027年に福岡教区創立100周年を迎えるにあたって、今年の7月14日（日）から記念事業が始まることを紹介し、宣教司牧方針の3つの柱を1年ずつ取り上げて歩いていくことを伝えた。その最初の1年目のテーマが「互いに支えあう『交わりの教会』となる」であり、今回の研修会の「ともに歩む教会」というテーマと重なるものであった。最後に、再びグループで分かち合いの時間をとり、「教会に来て、よかった」と感じたことを中心に語り合った。

この日は佐賀県内から100人を超える信徒・修道者の参加があったが、座席の前後は違う小教区の信徒が座っていたところも多く、初対面の人もいた中であつても分かち合いは盛り上がり、「時間が足りない。もっといろいろ話したかった」という声も聞かれるほどで、有意義な研修会となった。

報告：吉浦健次（伊万里教会）

筑後地区研修会

6月23日（日）、筑後地区宣教司牧評議会主催の研修会として、久留米教会にアベイヤ司教を迎え、「ともに歩む教会」というテーマでお話いただいた。筑後地区の6つの小教区から約110人の信徒、修道者、司祭が参加した。



司教からは、今年の秋が最終会合となるシノドスの歩みと、教区宣教司牧方針をまとめる過程は同じであったことの説明があり、特に、司教や司祭だけでなく、皆に聖霊が働いていることを強調されていた。7月から始まる、福岡教区創立100周年に向けての準備第1年目のテーマ「互いに支えあう『交わりの教会』となる」に沿って、2時間の研修会の間に、数人ずつのグループで分かち合いの時間が持たれ、「教会に来て、よかった」と感じた時のことについて、さまざまな意見が交わされた。「今日のように、司教様のお話を聞くだけでなく、自分の話を聞いてもらえたこと」「日頃気にかかっていた方を久しぶりにミサでお見かけした時」などいたるところで活発な発言が聞かれた。

司教は「生活の中、普段の信仰の中で感じる神様の導きを分かち合う、こうした雰囲気・機会をつくるのが大事だ」と語った。様々な理由で教会から離れてしまった人の声に真摯に耳を傾けるためにも、日ごろから実生活の体験を分かち合い、様々な気づきから互いを知ることが出来るこうした時間がいかに大切かを痛感した。教区創立100周年に向け、私たち一人ひとりが互いに支え合い、教会という人々の交わり、エクレシアの在り方を見つめ直す必要を強く感じた研修会となった。

報告：向江英子（久留米教会）

神父はひとり、歩き続ける。「女の人」を捜しながら。はだしの女の人を見ませんでしたか？「神父さまはさらに歩いていきました」（本文より）。彼が探し求めていたものとは…。戦いのない未来のために、私たちができることは何かを問いかける絵本。



☆ゆりの花がさいていた 高橋てつ（著） すぎたかはる（絵）



税込価格 1210円 文芸社発行

広告掲載をご希望の方は 下記までお問い合わせください 福岡教区本部事務局 広報部 電話：092-522-4059 メール：cdf-kouhou@nifty.com

※この枠で1回（ひと月）5,000円の献金（目安）をお願いしております。 ※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院 〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422 TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター 〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5 TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さんと一緒に働いてみませんか

URL: http://www.st-mary-med.or.jp/



福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

年間目標

互いに支え合う 交わりの教会となる

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：真の幸せへの道
日時：9月12日(木) 10時～15時(※8月は休み)
内容：「心の清い人々は、幸いである」
指導者：C.クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)
次回：10月10日(木) 10時～15時
内容：平和を実現する人々は、幸いである
指導者：Sr.マリア・デ・ジョルジ(マリア布教修道女会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻蛉1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

【北九州地区宣教司牧評議会主催】 「平和！子どもメッセージ Let's Go 発進！」

[日時] 8月12日(月・振替休日) 9:30～13:30
[場所] カトリック小倉教会
[対象] 子どものみなさん(幼児～中学生)
[問合せ] 谷口尚志神父(水巻・直方教会主任)
☎093-201-0680 水巻教会
※保護者の方々は同時並行開催の「第3回聖書講座」にも、自由に参加できます。



いつくしみ深い御父を讃える集い

[日時] 8月7日(水) 15時～17時
[場所] カトリック笹丘教会
[ミサ] 司式：遠山満神父(聖アウグスチノ会)
[問合せ先] ☎092-211-2521 平和の元后聖マリアの集い
※ロザリオをご持参ください。

【ミーアサロン大濠】 親子・孫と祖父母のフリースペース

[日時] 8月7日・21日(水) 10時～15時
[場所] 大濠カトリック会館 宣教養成センター
\*子どもさん、お孫さんと一緒にゆっくり過ごしませんか。夏休みの宿題をするスペースも用意しています。
[問合せ先] ☎090-5940-1344 (角田)



【福岡地区カトリック女性の会 主催】 聖モニカ祭

[日時] 8月31日(土) 13時～15時
[場所] カテドラル大名町教会 大聖堂
[感謝ミサ・追悼式] 司式：ヨゼフ・アペイヤ司教
[問合せ先] 福岡地区各教会の女性の会委員



【福岡地区信徒使徒職協議会 主催】 遠藤周作生誕100年 心のふるさと 日本を語る

[日時] 10月6日(日) 14時～16時
[場所] カテドラル大名町教会 1階講堂
[講師] ユスティナ・ペロニカ・カジャ氏
(西南学院大学・外国語学部教授 大名町教会信徒)
[問合せ先] TEL 080・5270・2657 (濱崎)

— 召命を共に祈る会 —

福岡地区 9月17日(火) 13時30分～ 大名町教会 ミサ O.ベルナルド神父(古賀教会主任)
[問合せ先] ☎092・921・4532 山口
北九州地区 9月14日(土) 14時～ 小倉教会 ミサ 谷口尚志神父(水巻・直方教会主任) 徐 仁徳神父(若松・戸畑教会主任)
※両会とも8月は休会です。
[問合せ先] ☎0949・24・9905 藤井

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報8月号」、または右記QRコードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00

9月のこよみ

案内板

会合と催し

8月のこよみ

- 1日(日) 年間第22主日 被造物を大切にす世界祈願日
すべてのいのちを守るための月間(10月4日まで)
大名町教会司牧訪問(ENGLISH MASS)
常任司教委員会・臨時司教総会(東京～6日)
8日(日) 年間第23主日 伊万里多久教会司牧訪問
10日(火) 日本206福者殉教者
14日(土) 十字架称賛
15日(日) 年間第24主日 呼子・馬渡島・松島教会司牧訪問
祖父母と高齢者のための世界祈願日
聖マタイ使徒福音記者
21日(土) 年間第25主日
久留米教会(山頭原太郎神父・100歳祝賀ミサ)
福岡教区全司祭集會
28日(土) 聖トマス西と15殉教者
29日(日) 年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金)
鳥栖教会司牧訪問
教区創立100周年委員会(大名町教会)
【10月】
3日(木) 常任司教委員会(東京)
6日(日) 年間第27主日
新田原教会 堅信式(5日～)

- 1日(木) 教区顧問会
2日(金) 福岡カトリック学校連盟研修会
3日(土) 真命山
4日(日) 年間第18主日 玉名教会司牧訪問
5日(月) 広島教区平和祈願祭(広島)(～6日)
6日(火) 主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
8日(木) 聖ドミニコ司祭
10日(土) 聖ラウレンチオ助祭殉教者 FYCC(～12日)
11日(日) 年間第19主日 手取教会司牧訪問
12日(月) 福岡教区主催 平和を祈る集い(大名町教会)
14日(水) 聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者
15日(木) 聖母の被昇天 和田墓地ミサ
18日(日) 年間第20主日 帯山教会司牧訪問
21日(水) 聖ピオ十世教皇
22日(木) 天の元后聖マリア
福岡教区幼児教育連盟研修会(佐賀・唐津～23日)
24日(土) 聖バルトロマイ使徒
熊本地区幼稚園研修会
25日(日) 年間第21主日 武雄・鹿島教会司牧訪問
27日(火) 聖モニカ 福岡双葉学園 教職員研修会 講話
28日(水) 聖アウグスチヌス司教教会博士
29日(木) 洗礼者聖ヨハネの殉教
31日(土) 福岡地区カトリック女性の会 聖モニカ祭(大名町教会)
■ゴシックは司教日程

日本カトリック平和旬間 8月6日～15日
すべてのいのちを守るための月間
9月1日～10日4日
◇心を合わせて祈り、日々の歩みを振り返る機会といたしましょう◇

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。



— 和田墓地 開放日と追悼ミサ —
開放日：8月13日(火)～15日(木) 10時～15時
追悼ミサ：8月15日(木) 14時～(ミサ後納骨式)
問合わせ先：☎080-2771-6554 福岡教区納骨堂委員会

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。
美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日10時
ホームレス支援炊き出し 第1・第3金曜日
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時
[問合せ先] ☎092・4331

1419コース・マルセル神父
大濠カトリック会館・宣教養成センター
みことばのお弁当 第4木曜日10時
[問合せ先] ☎092・753・6765 大濠カトリック会館

教区報10月号の発行日について
教区報10月号は10月2日に発送予定ですが、お届けが通常より遅れますが、ご了承ください。

編集後記
夕食後、母が観ていたTV番組を一緒にボートと観ていたら、「江戸時代から続く『老舗』も多い京都では、創業100年くらいで『老舗』で

福音の光を失った国
平和を失った国
フランシス・ブ・リン神父(ミャンマー) ドミニコ修道会・箱崎教会助任
ルカ24:44-48
「福音の光を失った国」平和を失った国
フランシス・ブ・リン神父(ミャンマー) ドミニコ修道会・箱崎教会助任
ルカ24:44-48
「福音の光を失った国」平和を失った国
フランシス・ブ・リン神父(ミャンマー) ドミニコ修道会・箱崎教会助任
ルカ24:44-48

日本語訳は下記QRコードからご覧いただけます。
ブ・リン神父